

Volunteer Information

ボランティア
インフォメーション

日野

2024 10月

新しい出会いが見つかる♪

まちづくり 市民フェア

2024

会場：日野市市民の森ふれあいホール
仲田の森蚕糸公園



パンフェス



戦隊ヒーローショー

10/13 日

10:00
15:00

雨天
決行

入場無料

フード・キッチンカー

綿あめ、フランクフルト、スープカレーなどで皆さんのお腹を満たします♪



ホール出展

体験型ワークショップやハンドメイドなど多数出展！



ステージ発表

ダンスやチア、マジックなど様々な団体が会場を盛り上げます！



※写真はイメージです
※出店(展)内容は変更になる場合があります

【会場アクセス】※ご来場の際は、上履きをご持参ください
JR日野駅より徒歩13分、多摩都市モノレール甲州街道駅より徒歩10分
※障害者手帳をお持ちの方は駐車場料金が免除になります。
手帳をお持ちのうえ受付にお越しください。



パンフェス



公式サイト



Instagram



スタンプラリー
同時開催!!

10月はイベント盛沢山

シルバーいきいき祭り2024!

内容：模擬店のお手伝い（焼きとり・焼きそば・もつ煮&おにぎり・飲み物・ヨーヨー釣り）
活動先：日野市シルバー人材センター（日野市日野本町2-4-7）
日時：10月26日（土）11：00～15：00

ボランティアセンターでできるボランティア

内容：食品の仕分け・箱詰め作業
パソコン事務・封入作業
ホスピタルアートづくり
活動先：中央福祉センター
日にち：月～金 9：00～17：15



JAZZと歌の音楽会



内容：音楽会の準備と片付け
活動先：多摩平交流センター集会室6（多摩平2-9）
日時：10月27日（日）13：00～17：00
①13：00～椅子の設置
②16：30～椅子の片づけ
※JAZZバンドの演奏を聴くことが可能で、上記時間外は演奏を聴くか休憩かを選べます。



もっとボランティア情報が見たい方はこちらのQRコードをお読みください。

問合せ先：ボランティアセンター ☎042-582-2318

市民フェアで ボラセンワークショップ

10.13日 10：00～15：00
参加費：無料

日野市民の森ふれあいホール
（日野市日野本町6-1-3）

オリジナルシールを作ろう



紙食器を作ってみよう

災害の時だけでなく
普段から役立つ防災知識
を簡単に体験しよう！

地震の時に足を守る紙スリッパづくり

予約不要なので会場でお待ちしております♪

100回同じこと聞いても怒られない スマホ講座の情報はこちら



10月21日（月）

①11：00～12：00（スマホ体験会）

②13：30～14：15（個別相談）

③14：30～15：15（個別相談）

会場：中央福祉センター（日野本町7-5-23）

10月28日（月）

①13：30～14：15（個別相談）

②14：30～15：15（個別相談）

会場：多摩平交流センター（多摩平2-9-9）

無料・完全予約制

※2ヶ月連続の申込・同月複数回の申込不可

※個人情報や料金に関わる相談は対応できない場合あり



スマホ講座日程表

もっとお近くの場所でも開催されてるかも！？

※予約が必要な場合がありますので下記までお問い合わせください。

【申込先】日野市ボランティア・センター（042-582-2318）



第4回社会福祉法人 おおぞら作品展

日程：令和6年10月30日(水)～11月1日(金)

時間：午前10時～午後4時

※11月1日は午後2時30分まで

場所：日野煉瓦ホール（市民会館）2階展示室

内容：①利用者の作品展示 ②各施設の紹介

問い合わせ：042-584-8700（はくちょう）

赤い羽根共同募金



あなたの優しさが 日野を支える



【運動期間】10月1日～12月27日

【受付場所】日野市社会福祉協議会（日野事務所・高幡事務所）日野市福祉政策課・七生支所

募金の 使われ方

赤い羽根共同募金は保育園などの備品購入事業や研修事業など地域の社会福祉活動に活用されています。

日野市で集められた募金の約70%は日野市の為活用され、残りの約30%は日野市を含む都内全域の福祉や災害等準備金として積み立てられています。

読者から運び手へ！

ボランティアインフォメーション 配布ボランティアの募集！

内容：ボランティアインフォメーションを配布するボランティア

活動先：ご自宅の近く～届けられる範囲
（応相談）

日にち：毎月月末～月初

条件：上記の時期にインフォメーションを取りに来れる方



活動することで散歩にもなるし健康にもいいよね！

問合せ先
日野市ボランティア・センター ☎042-582-2318

活動団体紹介コーナー

子ども食堂 “こころの家”

こどもに温かい食事と居場所を提供するとともに、地域住民がその成長を見守るような多世代コミュニティを作りたいという思いから始めた食堂です。



食事が終わったら遊びの時間が始まります。伺った日はとても暑かったので、大人も子供も外の公園でびしょぬれになるまで水遊びをしていました。食堂を訪れた多様な人たちが自然に言葉を交わしともに過ごす様子はまさに多世代交流の場で、その中で自由に遊ぶ子どもたちは本当に楽しそうでした。

右記のQRコードからひのう団体紹介ページをご確認いただき、ぜひ一度足を運んでいただきたいです(^_^)



ひのう紹介
ページ

まちづくり人 コラムリレー

誰もが住みやすい豊かなまちを目指して、日野市内外で輝く「まちづくり人」を紹介します。
あなたもきっと「まちづくり人」！



デフサッカー日本代表候補 名村 昌矩 さん

デフサッカーで世界と戦う アスリートとして

音のない世界を想像したこと
はありますか。想像しても難し
いと思います。聞こえないと言
っても状態は様々な人がいま
す。私は、補聴器をつければ少
しは聞こえる状態です。

みなさんデフサッカーという
競技を知っていますか。デフ
(Deaf)とは英語で「耳が
聞こえない」「聞こえにくい」
という意味があります。デフサ
ッカーは、聴覚障がい者のサッ
カー競技です。私は2023年
のデフサッカーで日本代表に選
ばれ、マレーシアで開催され
た『第4回ろう者サッカー選手権
大会』で準優勝をすることがで
きました。インターネットで試
合が観られるので、ご視聴して
もらえると思います。

小学校2年生の時に、日野市
の潤徳ガルーダでサッカーを始
め、日野第三中学校を卒業し、
野津田高校、現クラブチームと
サッカーを愛しプレーをしてい

ます。耳は子どもの頃から聞
こえにくかったのですが、高
校生の時までは、聞こえにく
いながらも特に診断も受けず
にいました。聞こえないこと
で長年にわたり、馬鹿にされ
たり嫌な思いをしたことがた
くさんあります。それでも、
多くのサッカー仲間や素晴ら
しい指導者に恵まれたことも
あり、嫌なことがあったとし
てもサッカーで見返すことが
できると信じて、サッカーを
続けてこられました。耳が聞
こえないというハンディキャ
ップがあっても努力してきた
量は、誰にも負けないという
自信や誇りがあります。

今回の世界大会で印象的だ
った試合は、準々決勝のフラ
ンス戦でした。フランスと
は、予選で負けた相手であり
ングマッチでした。一度負け
た相手に勝つことはとても難
しいことです。とても強い相
手でしたが、選手みんなの努
力もあって、奇跡の勝利を手
にすることができたのです。
デフサッカーは、選手はみ

んなが聞こえないので、喋って
コミュニケーションをとりなが
らプレーすることができませ
ん。ですから、プレー中は手話
やジェスチャーを使いながら、
味方同士でコミュニケーション
をとりながら戦います。

耳が聞こえないということは
見た目ではわからないので、普
段の生活で、相手に理解されず
困ることがよくあります。多く
の人に理解してもらえよう
に選手のみならず、今後もっと
PRしていく必要があると思っ
ています。

2025年11月には『デフ
リンピック』という、耳の聞こ
えないアスリートのためのオリ
ンピックが初めて東京で開催さ
れます。デフサッカーも競技の
ひとつです。私も日本代表とし
て、出場できるように頑張ら
ますので、日野市のみなさんの熱
い応援いただきたいと思いま
す。ぜひ、この機会にデフリン
ピックに関心を持っていただけ
るとありがたいです。



子どもたちと福祉授業
で交流する様子



ボラセンつづやき



「新しい出会い」エピソード♪先月から保護猫を2
匹迎え入れたのですが部屋が一気ににぎやかに。
最初は警戒していましたが、すぐに心を開いてく
れて、今では家族の一員です。毎日刺激と癒しを
くれる2匹に出会えて感謝です。(伊東直樹)

暑さも薄れ過ごしやすいい日が増えてきましたね。
10月は市民フェアやハロウィンイベントなど、
楽しいイベントが盛りだくさん♪ボラセンも市民
フェアに出店するので、ぜひ遊びに来てくださ
い！(^^) (橋谷優希)

デフサッカーという競技に出会いました。今回
のまちづくり人コラムリレーは、日野市出身の
デフサッカー日本代表の名村選手です。間近で
プレーを見ると、そのスピードにビックリしま
した！お人柄もとても素敵な方です。みなさん
からもエールを送ってください！(宮崎雅也)

毎年恒例の稲刈りで十日町市布川へ。冬の雪と梅
雨の雨が少なかった今年は休田する棚田もあり、
台風11号でも多くの稲が倒れていました。異常気
象は、じわじわと私たちの食にも影響して来てい
る事を肌で感じてきました(T_T) (中村康子)